

教職員の皆さんへ ～ 緊急メッセージ ～

教職員の皆さんには、自らの使命と誇りを胸に、多くの困難や課題に直面しながらも、北海道の未来を担う子どもたちのために、互いに協力し合い、日々、全力を尽くして教育活動に取り組んでいただいております。

ご承知のとおり、先月31日、道立高等学校教職員による飲酒運転事故が、再び発生しました。服務規律の厳正な保持については、各学校での研修や、リーフレットを配布するなど、これまでも再三にわたり指導の徹底を図り、不祥事防止に向けて取り組んできております。

全道民をあげて飲酒運転の根絶に取り組んでいる中、飲酒運転事故が再び発生したことは、これまで積み上げてきた教職員に対する道民の信頼を崩壊させるものであり、極めて遺憾なことであります。

この度、飲酒運転に係る再発防止の徹底について通知したところですが、飲酒運転根絶がなぜこれほどまでに叫ばれているのか、改めて根本から考えていただくとともに、同僚、仲間の中から「不祥事を出さない、見逃さない」という意識を職場全員で共有し、常日頃からその意識を確認し合ってください。

想像してみてください。

飲酒運転事故を起こしてしまった時の自分を。

自分の大切な人や、お世話になった方が、自らの代わりに謝罪をしている姿を。
自分がいなくなった学校の様子を。

その重さを考えると、安易な行動は決してとることができないはずです。

飲酒運転をはじめとする不祥事は、皆さん一人一人の意識があれば、必ず根絶できます。

教職員人生を実りあるものにするため、それを自ら断ち切るような行為は絶対にしないでください。

改めて、「子どもたちを預かり、守り、育む」という教職員の職務の重みを十分に自覚し、倫理観や規範意識をより一層高め、自らを律することのできる教職員であることを強く望みます。

令和元年(2019年)6月6日

北海道教育委員会教育長 佐藤 嘉大